

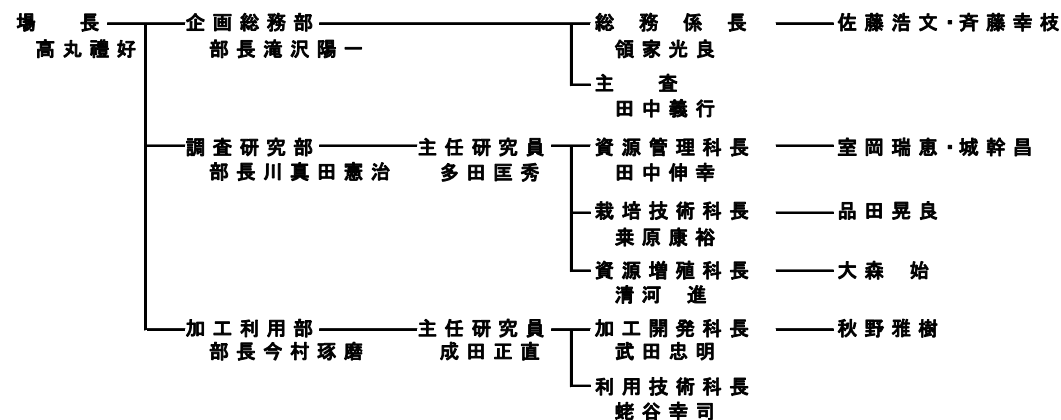
# 水産広場オホーツク

No.215 2005. 4. 3

## 【網走水産試験場の組織機構及び体制が変わりました】

当水産試験場の組織体制が変わりました。資源管理部と資源増殖部がひとつとなり、「調査研究部」となり、資源予測科を廃止しました。紋別支場は、「加工利用部」に名称が変更となり、「主任研究員」が配置されました。新たな機構と体制のなかで地域の水産業の発展のために、水産関係の試験調査に取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願ひします。

【平成18年度 網走水産試験場組織図 (4月1日現在)】



〈転出他〉 ※( ) 内異動先等

- 企画総務部
  - 総務係長 福島康夫(退職)
- 旧資源管理部
  - 資源管理部長 丸山秀佳(釧路水産試験場資源管理部長)
  - 主任研究員 佐藤一(栽培水産試験場生産技術部主任研究員)
  - 資源管理科長 野澤靖(退職)
- 旧資源増殖部
  - 資源増殖部長 西内修一(稚内水産試験場資源管理部長)
- 旧紋別支場
  - 研究職員 小玉裕幸(中央水産試験場加工利用部利用技術科)

〈転入〉 ※( ) 内異動前役職等

- 企画総務部
  - 総務係長 領家光良(留萌支庁水産課主査)
- 調査研究部
  - 調査研究部長 川真田憲治(稚内水産試験場資源増殖部長)
- 加工利用部
  - 主任研究員 成田正直(中央水産試験場加工利用部加工開発科長)

## 【平成18年度網走水産試験場事業概要について】

平成18年度における当場の事業概要は以下のとおりです。平成17年度事業概要を含め、詳細については、ホームページ「マリネット北海道」の網走水産水産試験場ページをご覧ください。

### Ⅰ調査研究部

- 漁業生物の資源・生態調査研究(継続)
  - (マガレイ、スナガレイ、クロガシラガレイ、キチジ、ミズダコ、ケガニ、スケトウダラ、ホッケ、サンマ、その他浮魚類、ウニ類の分布様式、年齢、成長等の基礎的生態の解明、資源評価の判定と汽水湖の環境保全技術の開発)
- 資源評価調査(継続)
  - (対象水族:スケトウダラ、マダラ、ホッケ、キチジ、マガレイ、ニシン、サンマ、マイワシの生物情報収集調査、生物測定調査)
- 漁況・海況予報調査(継続)
  - (定期海洋観測結果の報告)
- 水産資源管理総合対策事業(継続)
  - (カレイ類の生物測定調査、漁獲統計調査、調査船調査)
- ほたて貝対策試験調査(継続)
  - (貝毒プランクトン調査と検査結果の関係機関への速報)
- ホタテガイ浮遊幼生分布動態調査(継続)
  - (ホタテガイの生殖巣指数の変化、浮遊幼生の出現数、付着推貝数のデータ収集)
- 漁場環境保全推進事業(継続)
  - (生物モニタリング調査)
- ホタテガイ衛生管理高度化推進事業(継続)
  - (貝毒プランクトン検査)
- 貝殻を活用した増養殖場造成実証事業(継続)
  - (ホタテガイ放流漁場への貝殻散布のリスクの検討)
- ホタテガイの足糸部異常に関する調査研究(新規)
  - (異常貝出現状況の実態把握、異常部位の性状調査、長距離輸送耐性試験、回収率に対する影響調査)

### Ⅱ加工利用部

- マダラ白子の品質保持試験(継続)
  - (マダラ白子の品質評価指標の確立と品質保持技術の開発)
- 道産ホタテガイの高付加価値化のための品質評価システム及び品質保持技術の開発(継続)
  - (乾貝柱水分計測装置の開発及び貝柱混入異物検出技術、生鮮貝柱品質保持技術の開発)
- 超微細化技術(ナノテクノロジー)によるマリンサプリメント素材の開発(継続)
  - (超微細化技術の開発、超微細化による機能性の評価、超微細化素材の品質保持技術の開発)
- 北海道産鮭の品質等級判別システムの開発(継続)
  - (鮭品質計測技術の開発、鮭肉の品質評価基準の確立、鮭品質等級判別システムの評価)
- 水産加工技術普及指導事業(継続)
  - (移動加工相談室の開催、巡回指導の実施)

＜＜マリネット北海道ホームページ <http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp> ＞＞

網走水産試験場 網走市鱒浦1丁目1番1号 TEL:0152-43-4591  
 FAX:0152-43-4593  
 調査研究部直通 TEL:0152-43-4592  
 TEL:0152-43-2796  
 加工利用部 紋別市港町7丁目8番5号 TEL:0158-23-3266  
 FAX:0158-23-3352